

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(植物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	科名	和名(別名、流通名)	学名	原産地	-△○本 :定定 情着着 報着着 不不 済不 明不 み	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	生態系被害防止外来種リスト						本県への 影響 ◎影響大 ○報告・懸念有り △不明	2007年鳥取県				備考		
									カテゴリ	詳細 カテゴリ	影響の種類					生育環境 (脚注付きはその他文献による)	影響		本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着			
											競合	交雑	改変	人体			経済 産業	生態系			人の生 命・身体	農林水 産業
1	ミカヅキゼニゴケ科	ミカヅキゼニゴケ	<i>Lunularia cruciata</i>	地中海沿岸	○	定着済み:東部地区、中部地区、西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	(○)	市街地の道路脇や人家周辺の湿った土や石垣						
2	ウキゴケ科	ウロコハタケゴケ	<i>Riccia lamellosa</i>	北アメリカ	-		その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	○	平地の庭や畑						
3	ウキゴケ科	サビイロハタケゴケ	<i>Riccia nigrella</i>	北アメリカ	-		その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	公園や社寺の境内						
4	イワヒバ科	コンテリクラマゴケ(レインボーファーン)	<i>Selaginella uncinata</i>	中国	○	定着済み:東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	人家近くの垣根の下等	△				○	
5	サンショウモ科	外来アゾラ類	<i>Azolla</i> spp.	世界各地に分布。	○	定着済み:東部地区、西部地区	重点対策種	特定外来(一部)	総合対策	緊急対策	◎	◎	○	○	○	湖沼、水田、溝、水路などの日当たりのよい浅い水域	△				△	
6	サンショウモ科	オオサンショウモ	<i>Salvinia molesta</i>	北アメリカ	△	定着不明:西部地区	重点定着 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	(◎)	温暖地の池沼や水路	△				△	隣県分布:兵庫県 ^{※3,7}
7	ハゴロモモ科	ハゴロモモ(フサジュンサイ、カモンバ)	<i>Cabomba caroliniana</i>	北アメリカ東南部	○	定着済み:東部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	x	-	-	○	湖沼、ため池、河川、水路など	△				△	
8	スイレン科	園芸スイレン	<i>Nymphaea</i> cv.	約40種類が熱帯から温帯にかけて広く分布。	○	定着済み:東部地区、八頭地区、西部地区 定着不明:日野地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	○	-	-	(◎)	湖沼、水路、人里近くのため池など						
9	サトイモ科	ボタンウキクサ	<i>Pistia stratiotes</i>	南アフリカ	○	定着済み:東部地区	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	x	-	-	○	日当たりの良い池沼、河川、水田、水路など	△				×	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
10	オモダカ科	ヒロハオモダカ(ジャイアントサジタリア)	<i>Sagittaria platyphylla</i>	北アメリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	(◎)	-	-	-	(◎)	河川、水路、湖沼、湿地						
11	オモダカ科	ナガバオモダカ(ジャイアントサジタリア)	<i>Sagittaria weatherbiana</i>	北アメリカ	△	定着不明:東部地区、八頭地区	その他の対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	湖沼、ため池、水路、河川	△				△	隣県分布:岡山県 ^{※3}
12	トチカガミ科	オオカナダモ(アナカリス)	<i>Egeria densa</i>	南アメリカ	○	定着済み:県内全域	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	x	-	-	○	湖沼、河川。日当たりの良い、浅い、停滞水域	◎	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
13	トチカガミ科	コカナダモ	<i>Eloдея nuttallii</i>	アメリカ北東部	○	定着済み:東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	x	-	-	○	湖沼、河川、池、溝、水路	◎	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
14	トチカガミ科	クロモドキ(ラゴロソフオン・マヨール)	<i>Lagarosiphon major</i>	南アフリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	x	-	-	○	湖沼、河川、水路、湿地						隣県分布:岡山県 ^{※3} 、旭川水系河川 ^{※6}
15	トチカガミ科	アマゾントチカガミ(アマゾンフロッグビット、リムノビウム・ラエビガータム)	<i>Limnobium laevigatum</i>	熱帯アメリカ(アルゼンチン)	○	定着済み:西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	x	-	-	-	湖沼、ため池、河川の淀みや水路等						
16	トチカガミ科	外来セキショウモ(オオセキショウモ(ジャイアントパリスネリア)、セイヨウセキショウモに酷似した外来種)	<i>Vallisneria gigantea</i> , <i>Vallisneria</i> spp.	オオセキショウモは東南アジアに広く分布し、オーストラリア北部の一部にも自生。	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	(○)	湖沼、河川など日当たりの良い水域						隣県分布:岡山県、広島県 ^{※8}
17	ユリ科	シンテッポウユリ(新鉄砲ユリ、タカサゴユリ)	<i>Lilium</i> × <i>formoligi</i>	在来種のテッポウユリと台湾原産のタカサゴユリの交雑種由来。	○	定着済み:県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	○	◎	-	-	-	路傍、道路の法面、石垣の隙間など	△				○	
18	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン(ヒメヒオウギズイセン、モントブレチア)	<i>Crococsmia x crocosmiiflora</i>	南アフリカ	○	定着済み:県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	◎	x	-	-	-	花壇の付近や廃屋の庭跡、荒地、山野、海岸の草地など	△				○	
19	アヤメ科	キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>	ヨーロッパから西アジア	○	定着済み:県内全域	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	○	-	-	(○)	湖沼、ため池、河川、水路、水田湿った畑地、林縁、湿原、草地	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
20	ヒガンバナ科	ハナニラ(セイヨウアマナ)	<i>Ipheion uniflorum</i>	アルゼンチン	○	定着済み:東部地区、西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	住宅地、農地 ^{※3}	△				○	
21	クサスギカズラ(キジカクシ)科	アツバキミゴヨラン	<i>Yucca gloriosa</i>	北アメリカの海岸地域	○	定着済み:東部地区 定着不明:西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	x	◎	○	-	海岸の砂浜	△				△	
22	ヤシ科	九州北部以北の森林内などのシュロ類	<i>Trachycarpus</i> spp.	九州中南部	○	定着済み:県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	◎	◎	-	-	-	森林 ^{※4}						国内由来の外来種
23	ツユクサ科	ノハカタカラクサ(トキワツユクサ、トラデスカンティア・フルミネンシス)	<i>Tradescantia fluminensis</i>	南アメリカ	○	定着済み:東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	x	-	-	-	石垣、崖地、路傍、林床などやや湿った日陰	△				○	
24	ミズアオイ科	ホテイアオイ(ウォーターヒヤシンス)	<i>Eichhornia crassipes</i>	熱帯アメリカ	○	定着済み:東部地区、西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	x	-	-	○	富栄養化の進んだ湖沼、ため池、河川、水路などの水面	△				×	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※4} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
25	ショウガ科	ハナシュクシャ(シュクシャ、パタフライジンジャー)	<i>Hedychium coronarium</i>	インド~マレーシア	○	定着済み:西部地区 定着不明:中部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	x	-	-	-	湿性林、湿地、川岸など						
26	イグサ科	コゴメイ	<i>Juncus</i> sp.	ユーラシア産の <i>J. inflexus</i> に似るが別種である。	○	定着済み:東部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	沿海地、河川敷、湿地に生育する						
27	カヤツリグサ科	アサハタヤガミスゲ	<i>Carex longii</i>	北アメリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	砂質の湿地、湿草地、休耕田やその周辺の溝等、排水の悪い土地						
28	カヤツリグサ科	アメリカヤガミスゲ	<i>Carex scoparia</i>	北アメリカ	-		その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	湿地や湿った草地						隣県分布:兵庫県 ^{※9}
29	カヤツリグサ科	シュロガヤツリ(カラカサガヤツリ)	<i>Cyperus alternifolius</i>	マダガスカル	△	定着不明:西部地区	重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	○	池沼、河川、湿地						関東以西に分布 ^{※3}
30	カヤツリグサ科	メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>	熱帯アメリカ	○	定着済み:東部地区、西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	(○)	河川、畑、溝、湿地など	△				△	

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(植物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	科名	和名(別名、流通名)	学名	原産地	-△○本 : : 県 情定定定 着着着 不不不 済済済 ななな ししし	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	生態系被害防止外来種リスト							2007年鳥取県				備考		
									カテゴリ	詳細 カテゴリ	影響の種類					生育環境 (脚注付きはその他文献による)	本県への 影響		影響		本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着	
											競合	交雑	改変	人体	経済 産業		◎影響大 ○報告・懸念有り △不明	生態系	人の生 命・身体			農林水 産業
31	イネ科	コヌカグサ(レッドトップ)、クロコヌカグサ	<i>Agrostis gigantea, Agrostis nigra</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区 定着不明: 日野地区	産業管理種		産業管理	産業管理	◎	◎	○	○	○	畑地、牧草地、樹園地、路傍、草原、湿地、水辺など						
32	イネ科	オオハマガヤ(アメリカハマニク、アメリカカイガンソウ)	<i>Ammophila breviligulata</i>	北アメリカ	○	定着済み: 東部地区、中部地区、西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	×	◎	-	-	沿岸地域	△				○	
33	イネ科	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>	北アメリカ	○	定着済み: 県内全域	その他の対策種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	○	-	(○)	畑地、樹園地、牧草地、路傍、荒地など	◎	○		○	○	
34	イネ科	ハルガヤ(スイートバーナルグラス)	<i>Anthoxanthum odoratum</i>	ヨーロッパ～シベリア	○	定着済み: 県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	○	(○)	牧草地、放牧地、路傍、荒地、草地、河原、森林、山地	△				○	
35	イネ科	シロガネヨシ(パンバズグラス)	<i>Cortaderia seloana</i>	南米(アルゼンチン)	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区 定着不明: 西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	×	○	○	○	海岸砂丘、攪乱地、荒地、低木林、草原、川岸、水路、湿地						
36	イネ科	カモガヤ(オーチャードグラス)	<i>Dactylis glomerata</i>	地中海～西アジア	○	定着済み: 県内全域	産業管理種	旧要注意外来生物	産業管理	産業管理	◎	×	-	○	○	畑地、樹園地、路傍、荒地、土手、草地、河川敷、林縁、湿地、沿岸域等	△				○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
37	イネ科	シナダレスズメガヤ(ウイピングラブグラス、セイタカカゼクサ)	<i>Eragrostis curvula</i>	アフリカ南部	○	定着済み: 県内全域	重点対策種	旧要注意外来生物	総合対策	重点対策	◎	×	◎	-	○	牧草地、路傍、荒地、河原等	○	○		○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
38	イネ科	ドクムギ属(イタリアンライグラス、ベレニアルライグラス等)	<i>Lolium spp.</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区 定着不明: 西部地区	産業管理種	旧要注意外来生物	産業管理	産業管理	◎	×	○	○	○	畑地、樹園地、路傍、空地、荒地	○	○		○	○	
39	イネ科	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	北アメリカ	○	定着済み: 県内全域	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	○	畑地、樹園地、牧草地、路傍、荒地、河川敷、湿地水田周辺、道端	△				○	
40	イネ科	ギネアキビ(ギニアグラス、ギネアキビ、イヌキビ)	<i>Panicum maximum</i>	熱帯の東アフリカ	-		産業管理種		産業管理	産業管理	◎	×	-	-	(◎)	路傍、荒地、畑地、牧草地、草地、岩石地、川岸、攪乱地						関東以西に分布 ^{※3}
41	イネ科	シマスズメノヒエ(ダリスグラス)	<i>Paspalum dilatatum</i>	南アメリカ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区 定着不明: 日野地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	○	畑地、牧草地、芝生地、路傍、溝、荒地、鉄道、川岸、土手						
42	イネ科	キシウスズメノヒエ(カリマタズメノヒエ)	<i>Paspalum distichum var. distichum</i>	北アメリカ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区	その他の対策種	旧要注意外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	水田、溝、湿地、河川、水路、湖沼、ため池、砂浜	○				○	
43	イネ科	チクゴズメノヒエ	<i>Paspalum distichum var. indutum</i>	北アメリカ南部	-		重点定着予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	◎	湿地、水路、水田、湖沼、河川、ため池						隣県分布: 兵庫県、岡山県、広島県、鳥根県 ^{※7} 、円山川水系河川、加古川水系河川、揖保川水系河川 ^{※6}
44	イネ科	アメリカスズメノヒエ(バヒアグラス、オニスズメノヒエ)	<i>Paspalum notatum</i>	南アメリカ	○	定着済み: 東部地区、中部地区、日野地区	産業管理種		産業管理	産業管理	◎	-	-	-	(◎)	畑地、樹園地、牧草地、水田、路傍	△				○	
45	イネ科	タチスズメノヒエ(ベイジグラス)	<i>Paspalum urvillei</i>	南アメリカ	○	定着済み: 八頭地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	畑地、芝地、路傍、荒地、海岸埋立地、果樹園						
46	イネ科	ナビアグラス(ネビアグラス、エレファントグラス、ペルーグラス)	<i>Pennisetum purpureum</i>	熱帯アフリカ	-		産業管理種		産業管理	産業管理	◎	○	-	-	(◎)	畑地、水田、水路、畦畔、溝、路傍、森林、草地、荒地、川岸、海岸の砂浜等						関東以西に分布 ^{※3}
47	イネ科	オオアワガエリ(チモシー)	<i>Phleum pratense</i>	ヨーロッパ～シベリア	○	定着済み: 県内全域	産業管理種	旧要注意外来生物	産業管理	産業管理	◎	○	-	○	○	畑地、樹園地、路傍、荒地	△				○	
48	イネ科	モウソウチクなどの竹類	<i>Phyllostachys edulis, Phyllostachys spp.</i>	モウソウチクは中国。マダケは日本らしい。ハチクは中国と日本原産説がある。	○	定着済み: 県内全域	産業管理種		産業管理	産業管理	◎	×	◎	-	◎	植林地、里山の二次林や自然林	○	○			○	
49	イネ科	ヨシスキ(サッカラム パープルビーブルグリーター)	<i>Saccharum arundinaceum</i>	インド～東南アジア	○	定着済み: 東部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	畑地、樹園地、路傍、荒地						
50	イネ科	オニウシノケグサ(トールフェスク、ケンタッキー31フェスク)	<i>Festuca arundinacea</i>	ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア	○	定着済み: 県内全域	産業管理種	旧要注意外来生物	産業管理	産業管理	◎	-	-	○	(○)	牧草地、市街地、運動場、庭、路傍、荒地、河原、林縁等	○	○		○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
51	イネ科	セイバンモロコシ(ジョンソングラス)	<i>Sorghum halepense</i>	地中海沿岸のアフリカ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、中部地区、西部地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	○	(◎)	畑地、樹園地、牧草地、路傍、堤防、灌漑路の周辺	△				○	
52	イネ科	スバルティナ属	<i>Spartina spp.</i>	北アメリカ、ヨーロッパ、北アフリカで15～16種類が知られる。	-		重点定着予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	◎	-	(◎)	海岸近くの河口域、塩沼地、干潟	△				△	世界の侵略的外来種ワースト100(スバルティナ・アングリカ) ^{※4}
53	イネ科	ナギナタガヤ(ネズミノシツボ)	<i>Vulpia myuros</i>	ヨーロッパ～西アジア	○	定着済み: 県内全域	産業管理種		産業管理	産業管理	◎	×	○	-	○	畑地、牧草地、庭、路傍、荒地、海辺の砂地、乾いた草地など	△				○	
54	ケシ科	ハカマオニゲシ(ポタンゲシ)	<i>Papaver bracteatum</i>	イラン	-		その他の予防種		総合対策	その他	○	-	-	◎	^	原産地では山地。日本では花壇 ^{※2}						
55	ケシ科	アツミゲシ	<i>Papaver somniferum ssp. setigerum</i>	北アフリカ	○	定着済み: 東部地区、西部地区、日野地区	その他の対策種		総合対策	その他	○	-	-	◎	-	線路や道路に沿った空地	△				○	
56	メギ科	ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>	中国～ヒマラヤ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区	その他の対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	都市近郊の二次林						
57	ベンケイソウ科	セイロンベンケイ(トウロウソウ、セイロンベンケイソウ、ハカラメ)	<i>Bryophyllum pinnatum</i>	マダガスカル	-		重点定着予防種		総合対策	重点対策	◎	×	-	-	-	海浜地、岩場、山地の裸地、路傍						
58	アリノトウグサ科	オオフサモ	<i>Myriophyllum aquaticum</i>	南アメリカ	○	定着済み: 東部地区、中部地区	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	-	-	-	○	湖沼、ため池、河川、水路	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
59	アカバナ科	オオバナミズキンバイなどを含むルドウィギア・グランディフロラ	<i>Ludwigia grandiflora (L. grandiflora ssp. grandiflora)</i>	南米及び北米南部	-		重点定着予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	◎	-	-	◎	沼沢、湿地、ため池、湖沼、水路、河川						隣県分布: 兵庫県 ^{※7}
60	アカバナ科	アメリカミズユキノシタ(ルドウィジア・レペンス)	<i>Ludwigia repens</i>	北アメリカ～メキシコ～西インド諸島	○	定着済み: 中部地区 定着不明: 日野地区	重点対策種	旧要注意外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	湖沼、ため池、休耕地、水路、湿地	△				△	

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(植物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	科名	和名(別名、流通名)	学名	原産地	-△○本 :定定定 情着着着 報着着着 不不不 済済済 みみみ	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	カテゴリ	詳細 カテゴリ	生態系被害防止外来種リスト					生育環境 (脚注付きはその文献による)	2007年鳥取県				備考		
											影響の種類						本県への 影響 ◎影響大 ○報告・懸念有り △不明	影響				本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着	
											競合	交雑	改変	人体	経済 産業			生態系	人の生 命・身体	農林水 産業			
91	タデ科	エゾノギンギン(ヒロハギンギン)	<i>Rumex obtusifolius</i> var. <i>agrestis</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 県内全域	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	◎	-	-	○	牧草地、樹園地、芝地、畑地、路傍、川 岸、荒地、林地	○	○					
92	タデ科	山地のギンギン	<i>Rumex japonicus</i>	日本全土、朝鮮・中国・千 島・樺太	○	定着済み: 西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	◎	-	○	○	原野や道端の湿地						国内由来の外来種	
93	モウセンゴケ科	ナガエモウセンゴケ(ナガエノモウセンゴケ、ドロセラ・イン ターメディア)等の外来モウセンゴケ類	<i>Drosera intermedia</i> 、 <i>Drosera</i> spp.	北アメリカ、ヨーロッパ	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	重点対策	◎	◎	-	-	-	湿地						隣県分布: 岡山県※3	
94	ナデシコ科	ムシトリナデシコ(ハエトリナデシコ、コマチソウ)	<i>Silene armeria</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 県内全域	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	○	-	-	河川敷、市街地、荒地、道端	△					○	
95	ナデシコ科	マンテマ(マンテマン)	<i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、 中部地区、西部地区 定着不明: 日野地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	○	-	(○)	海浜の砂地や疎林、埋立地、路傍の草 地、河川敷、畑地、荒地、市街地	△					○	
96	ヒユ科	ナガエツルノゲイトウ	<i>Alternanthera philoxeroides</i>	南アメリカ	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	-	-	◎	湖沼、河川、水路、水田	△					△	隣県分布: 兵庫県※12、岡山県※3、島根 県※7、加古川水系河川、高津川水系河 川※6
97	ヒユ科	ホコガタアカザ	<i>Atriplex prostrata</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 東部地区、西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	○	-	(○)	海岸の裸地や海岸埋立地							
98	ツルムラサキ科	ツルムラサキ	<i>Basella rubra</i>	東南アジア原産ともされ るが明らかではない。	△	定着不明: 東部地区、八頭地区、 西部地区	その他の 予防種		総合対策	その他	◎	×	-	-	-	人家の近く						関東以西に分布※3	
99	スベリヒユ科	ケツメクサ(ヒメマツバボタン、ケツメグサ)	<i>Portulaca pilosa</i>	熱帯アメリカ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、 西部地区 定着不明: 中部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	乾燥した日当たりのよい道端、敷石の 間、畑、砂地、海岸の隆起サンゴ礁、岩 礁	△					○	
100	サボテン科	ウチワサボテン属	<i>Opuntia</i> spp.	アメリカ大陸の広範囲に 250種が知られる。	○	定着済み: 東部地区、日野地区 定着不明: 西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	×	○	○	-	海岸砂浜、河原、農耕地、牧草地※3	△: ハイウチワ △: ストリクタ					○: ハイウチワ △: ストリクタ	世界の侵略的外来種フースト100(オブ ンティア・ストリクタ)※4
101	ハマミズナ(ツル ナ)科	バウヤギク(エデュリス、莫邪菊)	<i>Carpobrotus edulis</i>	南アフリカのケープ地方	○	定着済み: 東部地区、西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	×	◎	-	-	海岸や攪乱地							
102	ヤマゴボウ科	ジュズサンゴ	<i>Rivina humilis</i>	南アメリカ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	×	-	-	(○)	やや暗い林内、庭園						隣県分布: 岡山県※3	
103	ツリフネソウ科	アカボシツリフネ(アカボシツリフネソウ、ケープツリフネ、 ケープツリフネソウ)	<i>Impatiens capensis</i>	北アメリカ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	やや日陰の湿地や川岸※3							
104	ツリフネソウ科	アフリカホウセンカ	<i>Impatiens walleriana</i>	東アフリカ、モザンビーク	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	自然林、植林地、河原、荒地							
105	マタタビ科	キウイフルーツ(シナサルナシ)	<i>Actinidia chinensis</i> var. <i>deliciosa</i>	中国	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、 西部地区 定着不明: 日野地区	産業管理種		産業管理	産業管理	◎	-	-	-	-	雑木林、クロマツ林、耕作放棄地、河川 敷、ため池の土手など※3							
106	アカネ科	オオフタバムグラ	<i>Diodia teres</i>	北アメリカ	○	定着済み: 東部地区、中部地区、 西部地区	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	×	○	-	-	砂地があった道端、河川敷、海岸、芝 生、林縁	○	○				○	
107	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>	南ヨーロッパ	○	定着済み: 県内全域	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	×	○	-	-	森林、草原、河川敷、海岸砂丘、人家付 近から杉林の林床まで、様々な環境※3	△					○	
108	ヒルガオ科	アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta pentagona</i>	北アメリカ	○	定着済み: 県内全域	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	(◎)	畑地、樹園地、牧草地、道端、荒地、河 原、海浜、栽培植物上	○	○				○	
109	ヒルガオ科	モミジハルガオ(タイワンアサガオ、モミジハルガオ)	<i>Ipomoea cairica</i>	熱帯アフリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	○	-	-	-	海岸砂丘、断崖、林縁、川岸							
110	ヒルガオ科	外来ノアサガオ類	<i>Ipomoea</i> spp. (<i>Pharbitis</i> spp.)	アサガオ類は、熱帯アメリ カや熱帯アジアに分布。	○	定着済み: 県内全域	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	○	-	-	(◎)	・アメリカアサガオ: 畑地、樹園地、牧草 地、荒地など ・マルバアサガオ: 畑地、樹園地、牧草 地、荒地など ・ノアサガオ: 畑地、樹園地、牧草地、荒 地など ・オオバアメリカアサガオ: 海岸、人里近 くの道端、林縁など	△					○	
111	ヒルガオ科	ホシアサガオ	<i>Ipomoea triloba</i>	熱帯アメリカ	○	定着済み: 西部地区 定着不明: 東部地区、日野地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	畑地、樹園地、路傍、荒地など							
112	ナス科	チョウセンアサガオ属	<i>Datura</i> spp. (<i>Brugmansia</i> spp.)	熱帯アメリカ	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、 中部地区、西部地区	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	○	×	-	◎	◎	畑地、樹園地、牧草地、芝地、道端、荒 地、海岸等	△					○	
113	ナス科	ダイオウナスビ	<i>Solanum mauritanum</i>	熱帯アメリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	○	(○)	農耕地、沿岸、自然林、植林地、河岸、 攪乱地、市街地							
114	モクセイ科	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	中国中南部	○	定着済み: 東部地区、西部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	農耕地、沿岸地域、自然林、河岸、攪乱 地、湿地、里山二次林	△					△	
115	オオバコ科	高山帯のオオバコ	<i>Plantago asiatica</i>	千島・樺太、北海道~琉 球、朝鮮、中国	○	定着済み: 中部地区、西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	◎	-	○	-	日当たりの良い道端や荒地						国内由来の外来種	
116	オオバコ科	ウキアゼナ(バコバ・ロンディフォリア、カラカワクサ)	<i>Bacopa rotundifolia</i>	北アメリカ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	×	-	-	○	池沼、河川、水路、水田などの水湿地						隣県分布: 円山川水系河川、揖保川水 系河川、吉井川水系河川、芦田川水系 河川・ダム※6 西日本の各地に分布※9	
117	オオバコ科	イケノミズハコベ	<i>Callitriche stagnalis</i>	ヨーロッパ	△	定着不明: 西部地区	重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	○	水田、用水路、小規模の河川、水際の 湿地						東北から近畿地方に分布※3	
118	オオバコ科	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>	ヨーロッパ~アジア北部	○	定着済み: 県内全域	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	◎	-	-	-	湿地、河川、水田、水路	○	○				○	
119	ゴマノハグサ科	フサフジウツギ(ニシキフジウツギ、チチフジウツギ、ブ ドレア)	<i>Buddleja davidii</i>	中国西部	○	定着済み: 東部地区、八頭地区、 日野地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	○	-	-	(○)	自然林、河岸、崩壊地、草原、攪乱地、 市街地、水路、湿地							
120	ハエドクソウ科	ハビコリハコベ(グロウスティグマ)	<i>Glossostigma elatinooides</i>	オーストラリアの北部、 ニュージーランド、アフリ カの一部	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	×	-	-	-	湖沼、ため池、湿地などの浅水域※3						隣県分布: 兵庫県※11	

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(植物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	科名	和名(別名、流通名)	学名	原産地	-△○本 : : 県 定定定 情着着 報着着 不不 済済 なな 明明 みみ	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	生態系被害防止外来種リスト							2007年鳥取県				備考		
									カテゴリ	影響の種類					生育環境 (脚注付きはその文献による)	本県への 影響 ◎影響大 ○報告・懸念有り △不明	影響		本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着			
										競合	交雑	改変	人体	経済 産業			生態系	人の生 命・身体			農林水 産業	
121	タヌキモ科	オオバナイトタヌキモ(ウトリクラリア・ギッパ)	<i>Utricularia gibba</i>	北アメリカと中部アメリカ	-		重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	○	-	-	-	貧栄養な池沼、ため池、湿地、水路 ^{※3}					隣県分布:兵庫 ^{※3} 、島根 ^{※5} 、吉井 川水系河川 ^{※6}	
122	タヌキモ科	エフクレタヌキモ	<i>Utricularia cf. platensis</i>	北アメリカ東部	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	湖沼、ため池、湿地					隣県分布:兵庫 ^{※3}	
123	キツネノマゴ科	ヤナギハルイラソウ(ムラサキセイセハナビ、ルエリア・ブリ リアナ、リュエリア、メキシコベチュニア)	<i>Ruellia brittoniana</i>	メキシコ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	×	-	-	-	河原、空地等の礫地、道路の舗装の隙 間						
124	クマツヅラ科	シチヘンゲ(ランタナ)	<i>Lantana camara</i>	北アメリカ南部~熱帯ア メリカ	△	定着不明:東部地区、八頭地区	重点定着 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	×	○	-	(◎)	市街地、道端、牧草地、畑地、荒地、海 岸、河原、低木林、自然林、二次林、原 野、湿地等	△			△	関東以西に分布 ^{※3} 世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}	
125	クマツヅラ科	ヒメイワダレソウ(ヒメイワダレ)	<i>Phyla canescens</i>	南アメリカ(ペルー)	△	定着不明:東部地区	重点定着 予防種		総合対策	重点対策	◎	◎	○	-	(○)	牧草地、草地、水路、氾濫原、灌漑地域 の下流					おそらく定着済みだが、伝聞情報のた め、本種かどうか、逸脱状態か判断が つかないため、定着不明とした ^{※5} 東北地方以南に分布 ^{※3} 隣県分布:兵庫 ^{※12} 、加古川水系河 川、高梁川水系河川 ^{※6}	
126	クマツヅラ科	アレチハナガサ類(アレチハナガサ、ダキバアレチハナガ サ、ヤナギハナガサ(サンジャクパーベナ)、ヒメクマツヅラ (ハマクマツヅラ)	<i>Verbena spp. (V. brasiliensis, V. incompta, V. bonariensis, V. litoralis)</i>	南北アメリカ	○	定着済み:県内全域	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	(○)	市街地の道端、荒地、河川敷、草原、湿 地、裸地、礫地	△			○		
127	キク科	マルバフジバカマ(ユーパトリウム・チョコレート)	<i>Eupatorium rugosum</i>	北アメリカ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	市街地、路傍の石垣の間、日陰、スギ林					詳細不明だが県東部で目撃情報があ る ^{※5} 北海道から九州に分布 ^{※3}	
128	キク科	カッコウアザミ、ムラサキカッコウアザミ(オオカッコウアザ ミ)、アゲラタム(総称名)	<i>Ageratum conyzoides, A. houstonianum</i>	カッコウアザミは南米原 産。ムラサキカッコウアザ ミは熱帯アメリカ原産。	○	定着済み:東部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	×	-	-	(◎)	畑地、道端、空地、樹園地、牧草地、休 閑地、荒地						
129	キク科	オオブタクサ(クワモドキ)	<i>Ambrosia trifida</i>	北アメリカ	○	定着済み:県内全域	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	×	-	○	○	畑地、牧草地、空地、堤防、鉄道線路沿 い、河原など	◎	○		花粉症	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
130	キク科	ワタゲハナグルマ、ワタゲツルハナグルマ(アークセカ・カ レンジュラ)	<i>Arctotheca calendula, A. prostrata</i>	南アフリカ	○	定着済み:東部地区 定着不明:西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	×	○	-	-	砂丘や砂浜、草原、森林、市街地の路 傍、荒地、埋立地、畦畔、畑地						
131	キク科	アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>	北アメリカ	○	定着済み:県内全域	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	◎	湿った草地、水田、水路、休耕地、牧草 地、樹園地、路傍、荒地、湿地など	○	○		○		
132	キク科	タチアワユキセンダングサ(オオバナセンダングサ)	<i>Bidens pilosa var. radiata</i>	熱帯アメリカ	-		その他の 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	○	道端、畑地、空地等いたるところ	△				△	本州から九州に分布 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
133	キク科	栽培キク属	<i>Chrysanthemum (Dendranthema) cv.</i>	キク属(狭義)は約50種類 あり、東アジアに多い。	○	定着済み:東部地区、西部地区 定着不明:八頭地区	その他の 対策種		総合対策	その他	○	◎	-	○	-	海岸、島嶼、山地						
134	キク科	アメリカオニアザミ	<i>Cirsium vulgare</i>	ヨーロッパ	○	定着済み:日野町	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	○	○	原野や河川敷	△				△	
135	キク科	ケナシヒメムカシヨモギ(ケナシムカシヨモギ)	<i>Conyza parva</i>	北アメリカ	○	定着済み:東部地区、西部地区 定着不明:中部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	○	-	-	道端、空き地などの乾いた陽地	△				○	
136	キク科	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>	北アメリカ	○	定着済み:県内全域	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	-	-	-	河川敷、道路沿い、海岸など	◎	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
137	キク科	ハルシャギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>	北アメリカ西部	○	定着済み:東部地区、八頭地区、 日野地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	河川敷の草地、路傍、空地	△				○	
138	キク科	ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>	北アメリカ	○	定着済み:県内全域	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	-	-	-	○	低地から高山地帯までの畑地、樹園地、 牧草地、路傍、荒地など	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
139	キク科	ペラペラヨメナ(ペラペラヒメジョオン、メキシコヒナギク、エリ ゲロン・カルピンスキアヌス、源平小菊、ゲンペイコギク)	<i>Erigeron karvinskianus</i>	中央アメリカ	○	定着済み:県内全域	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	○	-	-	農耕地、自然林、植林地、河岸、攪乱 地、市街地面、湿地、石垣の隙間や川 沿いの崖など	△				○	
140	キク科	ミスヒマワリ	<i>Gymnocoronis spilanthoides</i>	中央~南アメリカ	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	-	-	○	湖沼、河川、水路の水の中や水際	△				△	隣県分布:兵庫 ^{※7}
141	キク科	ツルヒヨドリ(ツルギク、ミカニア・ミクランサ)	<i>Mikania micrantha</i>	熱帯アメリカ	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	-	-	(○)	畑地、樹園地、牧草地、路傍、荒地など	△				△	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
142	キク科	タワダギク	<i>Pluchea odorata</i>	北アメリカ~南アメリカ北 部	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	×	-	-	-	日当たりの良い原野						
143	キク科	フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>	ヨーロッパ	○	定着済み:県内全域	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	(◎)	畑地、牧草地、路傍、空地、高山						
144	キク科	コウリンタンポポ(エフデタンポポ)	<i>Hieracium aurantiacum</i>	ヨーロッパ	○	定着済み:東部地区、八頭地区、 西部地区 定着不明:日野地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	(○)	山地の草地、畑地、牧草地、芝地、路 傍、荒地など						
145	キク科	キバナコウリンタンポポ(ノハラタンポポ、キバナコウリンタ ンポポ)	<i>Hieracium caespitosum</i>	ヨーロッパ	○	定着済み:西部地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	-	-	-	-	草地、路傍、休耕地に生育する						
146	キク科	アラゲハンゴンソウ(キヌガサギク、ルドベキア・ヒルタ、グロ リオサ・デージー)	<i>Rudbeckia hirta var. pulcherrima</i>	北アメリカ	○	定着済み:東部地区、中部地区、 西部地区 定着不明:日野地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	×	-	-	-	造成地、法面、牧場、山岳道路沿い等	△				○	
147	キク科	オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>	北アメリカ	○	定着済み:東部地区、日野地区 定着不明:西部地区	重点対策種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	×	-	-	-	路傍、荒地、河原、湿原、森林など、肥 沃で湿った環境	○	○			○	
148	キク科	ナルトサワギク	<i>Senecio madagascariensis</i>	アフリカ(マダガスカル)	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	-	-	◎	◎	海辺の埋め立て地や空き地など	△				△	隣県分布:兵庫 ^{※7} 、岡山 ^{※7}
149	キク科	セイタカアワダチソウ(セイタカキノキリンソウ)	<i>Solidago altissima</i>	北アメリカ	○	定着済み:県内全域	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	○	路傍、空地、河川敷、土手、原野、休耕 地	◎	○		○	○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}

鳥取県の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(植物)

「※+番号」は根拠となる資料No.を示す

No.	科名	和名(別名、流通名)	学名	原産地	-△○本 : : 県 情 定 定 報 着 着 な 着 着 し 不 明 み	県内分布 (5地区)	鳥取県指定 カテゴリ	特定外来 生物等 指定	生態系被害防止外来種リスト						本県への 影響 ◎影響大 ○報告・懸念有り △不明	2007年鳥取県				備考		
									カテゴリ	詳細 カテゴリ	影響の種類					生育環境 (脚注付きはその文献による)	影響					
											競合	交雑	改変	人体			経済 産業	生態系	人の生 命・身体		農林水 産業	本県定着 の有無 ○定着済み △不明 ×未定着
150	キク科	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea</i> var <i>leiophylla</i>	北アメリカ	○	定着済み: 東部地区、中部地区	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	原野、道端や、河川敷	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
151	キク科	アメリカハマグルマ(ミツバハマグルマ)	<i>Sphagneticola trilobata</i>	フロリダ南部~熱帯アメリ カ	-		重点定着 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	緊急対策	◎	○	○	-	○	農耕地、海岸、自然林、植林地、草原、 河原、低木林、市街地、隆起珊瑚礁。	△				△	世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
152	キク科	ネバリノギク	<i>Aster novae-angliae</i>	北アメリカ	-		その他の 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	○	-	-	-	道端、荒地、山野、山村など ^{※3}	△				△	詳細不明だが県東部で目撃情報がある ^{※5} 北海道から九州に分布 ^{※3} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
153	キク科	ユウゼンギク	<i>Aster novi-belgii</i>	北アメリカ	-		その他の 予防種		総合対策	その他	◎	○	-	-	-	道端、荒地、空地、山野など ^{※3}						北海道から九州に分布 ^{※3}
154	キク科	外来性タンポポ種群	<i>Taraxacum officinale</i> 、 <i>T.</i> <i>spp.</i>	ヨーロッパ	○	定着済み: 県内全域	重点対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	重点対策	◎	◎	-	○	○	市街地、道端、空地、畑地、牧草地、芝 地、樹園地、川岸、山地、高山の駐車場	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
155	キク科	オオオナモミ	<i>Xanthium canadense</i>	メキシコ	○	定着済み: 県内全域	その他の 対策種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	◎	-	-	◎	畑地、樹園地、牧草地、路傍、荒地等	○	○			○	日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}
156	ウコギ科	ブラジルチドメグサ	<i>Hydrocotyle ranunculoides</i>	南アメリカ	-		重点定着 予防種	特定外来	総合対策	緊急対策	◎	-	-	-	○	湖沼、河川、水路	△				△	隣県分布: 岡山県 ^{※3} 、兵庫県 ^{※7} 、芦田 川水系河川 ^{※6}
157	ウコギ科	ウチワゼニクサ(タテバチドメグサ)	<i>Hydrocotyle verticillata</i> var. <i>triradiata</i>	北アメリカ	○	定着済み: 西部地区	重点対策種		総合対策	重点対策	◎	-	-	-	-	湖沼、ため池、水路、水田、湿地など						
158	ウコギ科	カミヤツデ(ツウソウ(通草)、ツウダツボク(通脱木))	<i>Tetrapanax papyrifer</i>	中国南部、台湾	○	定着済み: 東部地区、中部地区、 西部地区、日野地区 定着不明: 八頭地区	その他の 対策種		総合対策	その他	◎	×	-	-	(○)	河川敷など	△				○	
159	セリ科	ドクニンジン	<i>Conium maculatum</i>	ヨーロッパ	-		その他の 予防種	旧要注意 外来生物	総合対策	その他	◎	×	-	◎	◎	畑地、牧草地、路傍、荒地など	△				△	
160	イワツタ科	変異種のイチイヅタ(キラール藻)	<i>Caulerpa taxifolia</i>	野生種は南西諸島以南 の熱帯・亜熱帯海域	-		重点定着 予防種		定着予防	侵入予防	(◎)	-	○	-	(◎)	地中海での分布深度はおよそ1~100m ^{※4}						野生種は国内に自然分布。 ^{※4} 世界の侵略的外来種ワースト100 ^{※4} 日本の侵略的外来種ワースト100 ^{※4}

脚注一覧

※1: 特定外来生物等の選定作業が必要と考えられる外来生物(植物)に係る情報及び評価(案)ーウトリクラリア・プラテンシス: 環境省

※2: 薬用植物総合データベースhttp://mpdb.nibiohn.go.jp/mpdb-bin/view_plant_data.cgi?id=86&lang=ja

※3: 最新日本の外来生物: 一般財団法人自然環境研究センター編著

※4: 外来種ハンドブック: 日本生態学会編

※5: 聞き取り調査の情報提供

※6: 河川環境データベース: 国土交通省https://www.nilim.go.jp/lab/fgb/ksnkankyo/

※7: 国立環境研究所侵入生物データベース: https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/

※8: コウガイセキショウモの野生化個体群を神奈川県と岡山県に記録する: 17 (1), 43-47, 2017 日本植物分類学会

※9: ネイチャーガイド日本のスゲ: 文一総合出版

※10: 生態系被害防止外来種リスト: 環境省: https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html

※11: 愛知県の外来種ブルーデータブックあいち2021: 愛知県

※12: 兵庫県の生物多様性に悪影響を及ぼす外来種リスト(ブラックリスト)(2010): 兵庫県